

海底火山の最近の活動について\*

The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁海洋情報部

Hydrographic and Oceanographic Department of Japan Coast Guard

前回(第103回)に報告した以後(2006年2月25日から2006年6月4日)の活動状況は、以下のとおりである。

伊豆諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
伊豆大島	2006/ 3/14	海上保安庁	島の北岸碁石浜から岡田港にかけて黄緑色変色水を視認した。また、島の東岸行者浜付近で青白色変色水を視認した。三原山火口及び付近に噴煙を認めず。

南方諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
伊豆大島	2006/ 3/14	海上保安庁	島の北岸碁石浜から岡田港にかけて黄緑色変色水を視認した。また、島の東岸行者浜付近で青白色変色水を視認した。三原山火口及び付近に噴煙を認めず。
西之島	2006/ 3/16	海上保安庁	島の西岸及び東岸で黄緑色変色水を視認した。
海徳海山	2006/ 5/ 9	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2006/ 4/ 7	海上自衛隊	変色水を認めず。
噴火浅根	2006/ 3/16	海上保安庁	噴火浅根から少量のガス(泡)が噴出しているのを視認した。
硫黄島	2006/ 3/15	海上保安庁	島の周囲全域で薄い緑色から黄緑色の変色水を視認した。また、島の北東岸日の出浜の離岸温泉跡付近から水蒸気が噴出しているのを視認した。
福德岡ノ場	2006/ 6/4	第三管区海上保安本部	福德岡ノ場付近において直径約20mの薄い青緑色の変色水を視認した(写真1)。周辺海域に、浮流物や湧出を認めず。
	2006/ 5/ 9	第三管区海上保安本部	福德岡ノ場から南西へ幅約100m、長さ約300mの緑色変色水を視認した。
	2006/ 4/26	第三管区海上保安本部	福德岡ノ場を中心として半径約50mの海域に青みがかった乳白色変色水を視認した(写真2)。同海域の北西には弧を描くように数個の長さ約100m、幅約0.5mの筋状の白い浮遊物を視認した。熱画像では、海面上に温度の高い箇所は認めず。
	2006/ 4/25	第三管区海上保安本部	福德岡ノ場を中心半径約20mの薄い青色で、その中心付近は青白色変色水を視認した。福德岡ノ場の南側約500mの位置に北東方向に幅約1m長さ約50mの白色の浮遊物を視認した(写真3)。

\* Received 2 August, 2006

福徳岡ノ場	2006/ 4/ 7	海上自衛隊	福徳岡ノ場を中心に半径約 1,000m のごく薄い緑色変色水を視認した。
	2006/ 3/15	海上保安庁	湧出点から西方へ延びる長さ約 6,000m、幅約 500m の青白色変色水を視認した(写真4)。
	2006/ 3/10	第三管区海上保安本部	変色水を認めず。

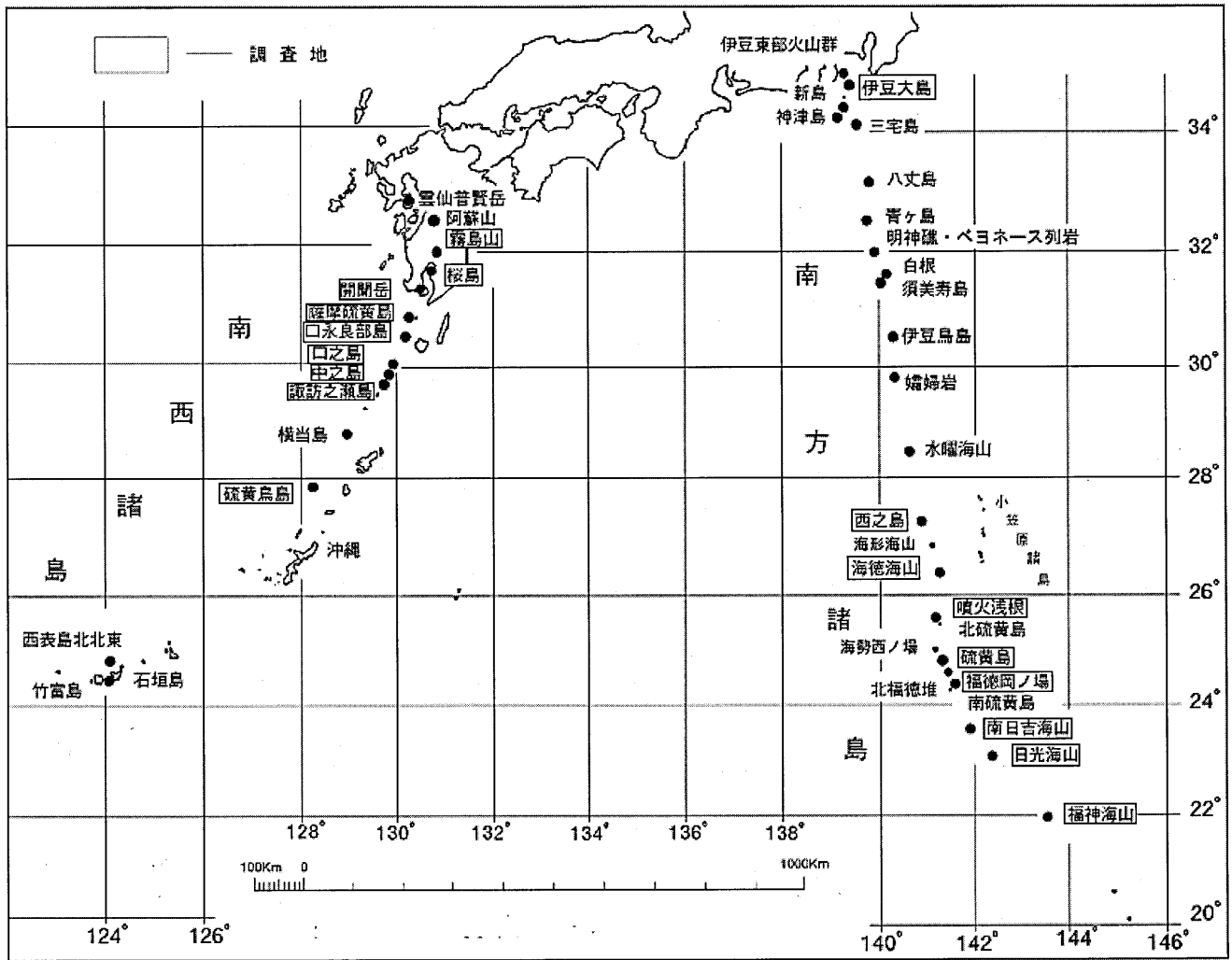
その他の海底火山

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
南日吉海山	2006/ 5/ 9	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2006/ 4/ 7	海上自衛隊	変色水を認めず。
日光海山	2006/ 5/ 9	海上自衛隊	変色水を認めず。
	2006/ 4/ 7	海上自衛隊	変色水を認めず。
福神海山	2006/ 4/ 7	海上自衛隊	変色水を認めず。

九州・南西諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況		
霧島山	2006/ 5/25	第十管区海上保安本部	御鉢は 2003 年に生じた 2 箇所の噴気孔から約 20m の高さの水蒸気をあげているのを視認した。 新燃岳は 1959 年の割れ目の最上位で僅かな水蒸気を視認した。また 1991 年の噴気孔からはごく微弱な水蒸気らしきものを視認した。		
			2006/ 3/20	第十管区海上保安本部	御鉢火口内の南側内壁の一部から水蒸気が出ているのを視認した。
			2006/ 3/15	第十管区海上保安本部	御鉢火口から水蒸気が出ているのを視認した。また、新燃岳に噴気を認めず。
			2006/ 3/ 4	第十管区海上保安本部	御鉢火口内の南側内壁の一部から水蒸気が出ているのを視認した。
桜島	2006/ 5/25	第十管区海上保安本部	南岳A火口は弱い白煙が立ちこめており火口底は視認できず(写真5)。 B 火口は埋積された状態のままで火口壁の上部に水蒸気を視認した。また、昭和溶岩の出口(火口)周辺での水蒸気は活発であった(写真6)。		
			2006/ 3/15	第十管区海上保安本部	南岳火口全体から水蒸気が出ているのを視認した。
開聞岳	2006/ 5/25	第十管区海上保安本部	山頂部付近の噴気や南海岸での変色水は認めず。		
	2006/ 3/20	第十管区海上保安本部	噴煙を認めず。		

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
薩摩硫黄島	2006/ 5/25	第十管区海上保安本部	硫黄岳山頂は雲に覆われ視認できず。また、硫黄岳の東海岸は茶褐色の変色水が取り巻くように分布し、その他の海岸は通常と同じ黄緑色の変色水を視認した。
	2006/ 3/15	第十管区海上保安本部	硫黄岳火口全体から水蒸気が出ているのを視認した。同島南岸の硫黄島港から稲村岳南岸にかけて茶褐色変色水を視認した。また、南東岸から同島東岸及び平家城にかけて乳白色変色水を視認した。
口永良部島	2006/ 5/25	第十管区海上保安本部	古岳火口直近の南側斜面にごく弱い水蒸気を視認した。火口底には泥水がたまっており、火口壁には水蒸気を認めず。新岳では噴気孔部分は硫黄析出のため黄色を呈していたが、強い水蒸気は認めず。1980年（一部1945年）の割れ目での水蒸気は認めず。口之永良部島港の新岳溶岩側の部分とニシマザキ南側海岸で薄緑色の変色水を視認した。
	2006/ 3/15	第十管区海上保安本部	古岳火口西側に水蒸気が出ているのを視認した。新岳に噴気を認めず。また、同島中央南岸のニシマザキ南部に青白色変色水を視認した。
口之島	2006/ 5/25	第十管区海上保安本部	燃岳溶岩ドーム上の小火口に僅かな水蒸気を視認した。
	2006/ 3/15	第十管区海上保安本部	燃岳南東側斜面の噴気孔から水蒸気が出ているのを視認した。燃岳南西岸に帯状に広がる青白色変色水を視認した。また、燃岳北東岸に青白色変色水を視認した。
中之島	2006/ 3/15	第十管区海上保安本部	御岳の火口内北側及び南側のそれぞれ1箇所から水蒸気が出ているのを視認した。また、御岳東側斜面に水蒸気が出ているのを視認した。同島周辺に変色水を認めず。
諏訪之瀬島	2006/ 5/25	第十管区海上保安本部	御岳火口内は白煙で満たされていたが噴出を認めず。集落西側の港に変色水は認めず。東側の作地鼻から北側の富立にかけての海岸一帯に薄緑色の変色水を視認した。
	2006/ 3/20	第十管区海上保安本部	御岳火口から白煙が出ているのを視認した。
	2006/ 3/15	第十管区海上保安本部	御岳火口から灰煙が出ているのを視認した。同島南東岸の切石港と作地鼻の中間部に茶褐色変色水を視認した。また、東岸の作地鼻から北岸のどくろ瀬にかけて乳白色変色水を視認した。
硫黄島	2006/ 4/30	第十一管区海上保安本部	島の北側火口中央部付近の水溜りの中の噴気口(クレーター)(写真7)及びグスク火山北壁の亀裂から水蒸気の上昇を視認した。



第1図 火山噴火予知調査位置

Fig.1 Index of submarine volcanoes and volcanic islands.

福德岡ノ場変色水 2006年6月4日撮影



写真1 福德岡ノ場  
Photo.1 Fukutoku-Oka-no-Ba

福德岡ノ場火口付近変色水 2006年4月26日撮影



写真2 福德岡ノ場  
Photo.2 Fukutoku-Oka-no-Ba

福德岡ノ場浮遊物 2006年4月25日撮影



写真3 福德岡ノ場  
Photo.3 Fukutoku-Oka-no-Ba

福德岡ノ場火口付近変色水 2006年3月15日撮影

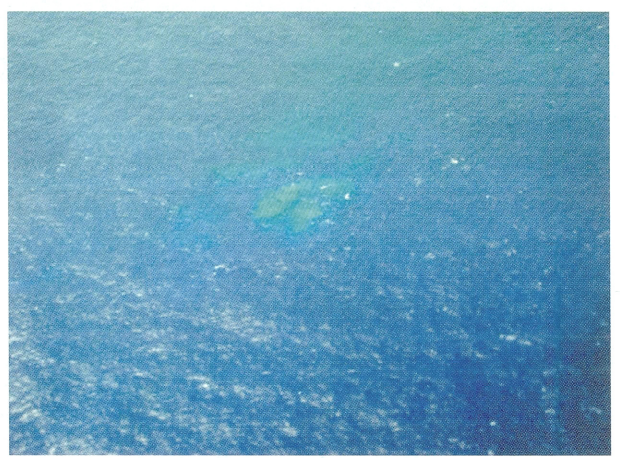


写真4 福德岡ノ場  
Photo.4 Fukutoku-Oka-no-Ba

桜島南岳A火口 2006年5月25日撮影

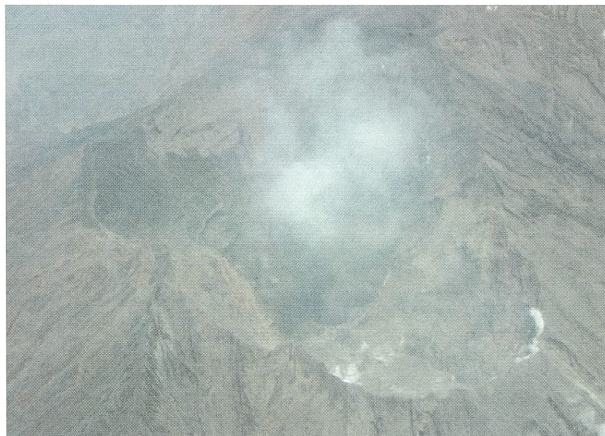


写真5 桜島  
Photo.5 Sakurajima

桜島昭和火口付近 2006年5月25日撮影



写真6 桜島  
Photo.6 Sakurajima

第2図 可視画像

Fig.2 Aerial photos

## 硫黄鳥島

今回の2006年4月30日の調査(写真7)では、火口内の水溜まり中央付近に噴気口ができており、周辺に黒色の噴出物が堆積している。硫黄鳥島では、雨水が火口内を満たす満水時(写真8)には、噴出ガスは水に溶け出しているが、渇水時(写真9)には水蒸気を伴い空中に噴出している。この状況が繰り返され、これらの多量の水蒸気が近隣の島から時々、目撃されることがある。

硫黄鳥島火口部 2006年4月30日撮影



写真7 硫黄鳥島  
Photo.7 Iō-Torishima

硫黄鳥島火口部 2005年6月22日撮影



写真8 硫黄鳥島  
Photo.8 Iō-Torishima

硫黄鳥島火口部 2005年9月2日撮影



写真9 硫黄鳥島  
Photo.9 Iō-Torishima

第3図 可視画像

Fig.3 Aerial photos

西之島

今回の2006年3月16日の調査では、2004年10月12日撮影時と比較すると島の北側が侵食され、北東側及び南東側に張り出している。撮影時の潮高差は、約0.1mで大差はない。

熱分布画像では、前回調査時と全体的に変化は見受けられないが、前回、島の南東部に高温部が存在していたが、今回はさほど際立ったものは無い。

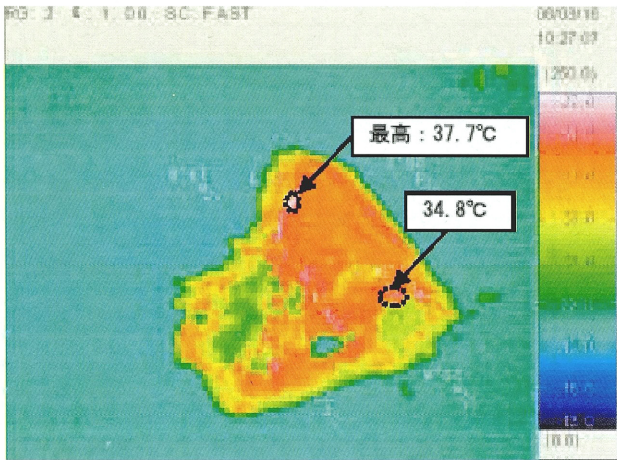


写真10 西之島熱画像 2006年3月16日撮影  
Photo.10 Thermal images of Nishinoshima



写真11 西之島可視画像 2006年3月16日撮影  
Photo.11 Aerial photo of Nishinoshima

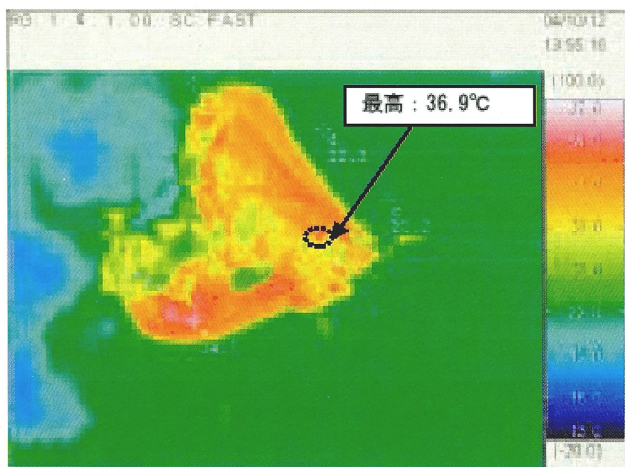


写真12 西之島熱分布画像 2004年10月12日撮影  
Photo.12 Thermal images of Nishinoshima



写真13 西之島可視画像 2004年10月12日撮影  
Photo.13 Aerial photo of Nishinoshima

※ 熱画像撮影機器は、NEC THERMO TRACER TH7102MV。

第4図 熱分布画像及び可視画像  
Fig.4 Thermal images and aerial photos